

YAコーナーに新しく入った本からピックアップ。

**YA
通信**

No64 2015年7月号
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代=10代のみなさんのための読書情報誌です。ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階YAコーナー所蔵です。



『はじめての聖書』 はしづめ だいさぶろう 橋爪 大三郎/著

河出書房新社 19/ハ/14

世界で一番売れている本は基督教の聖書だそうですね。しかし皆さんの周りに聖書をしっかりと読んだという人はあまりいないのではありませんか。仮に興味があっても、何が書いてあるのかよくわからないし、第一分厚くて読むのに抵抗がありますよね。この本は、そんな興味があっても聖書に手が出せない人が、聖書にチャレンジする前段階になるように書かれたものだそうです。なので、重要なトピックスをわかりやすくまとめたものになっています。これを読めば聖書を読んでみようかな、といった気持ちにさせる本ということですね。興味がある人も無い人も一度目を通してみてはいかがでしょうか？



名作たからばこ



『モンテ・クリスト伯 上・中・下』 アレクサンドル・デュマ/作

たけむら たけし 竹村 猛/編訳 岩波書店 95/イワ/00-1~00-3 3階児童

世界に名だたる復讐譚ふくしゅうたんとして有名なのがこの本。日本だと「巖窟王」のほうが、通りがいいかもしれませんね。幸福の絶頂にいた主人公が突然の逮捕、投獄という憂き目に。14年の月日をかけて脱獄した彼が自分を不幸のどん底に落とした人たちに復讐をしてゆきます。というところまでは皆さん知っているかもしれませんが、実はこの主人公、復讐ばかりではなく、大冒険をしたり恋愛したり、昔の恩人に恩返しをしたりと物語の中でいろいろ活躍します。ですので復讐話という割には重くならないのもこの本のいいところですね。

ところでこの本はダイジェスト版ということで出版されているもので、「完訳版」として出ているものだと全7巻の大作になります。この本を読んで面白かったと思われたらぜひこちらも読んでみてください。

農業

皆さんの食卓を支える仕事、その一つが農業ですね。そんな大切な職業なのに私たちは農業に対して知らないことが多すぎませんか？今回紹介した本を読んで、農業と私たちの深いつながりを再確認してみませんか？



『発見！しごと偉人伝 農業者という生き方』 藤井 久子/著 ペリかん社 61/ノ/14

私たちにとって、とても身近な農業。でも、誰がどうやって、今の「農業」の形をつくりあげたのか知っていますか？この本では、農業での社会貢献にかかわった人たちと、その人たちの身に降りかかった出来事を、分かりやすく教えてくれます。また、偉人伝というだけあって、その人の生き方のポイントまで教えてくれています。注目すべきポイントには、ミニマンガを使用するという理解しやすい配慮がされているので、楽に読むことができますよ！

『日本の農業 2 米をそだてる』 荒木 均、渡邊 好昭/監修 岩崎書店

61/ニ/10-2 3階児童

日本人の主食で、身近なお米。みなさんが普段何気なく食べているお米がどのように作られているのかご存知ですか？種子から芽が出て苗になり、田植えをして、やがて稲になって収穫を迎えるまでのプロセスと、米作りの歴史、各地の米作り、穀物の話がわかりやすくまとめられています。米作りは自然と向き合っています。農家の方のご苦労があってこそのお米です。一度読まれてみてはいかがでしょうか。



『どうしてトウモロコシにはひげがあるの？ 藤田 智のおもしろやさい学』

藤田 智/著 少年写真新聞社 62/ト/14 3階児童

トウモロコシにはなぜひげがあるのか、レンコンの穴は何のために開いているのか。なぜトウガラシは辛くゴーヤーは苦いのか。ひげがあるのも穴が開いている事も、辛いことも苦いのも知っているけれど、なぜっていわれると困りませんか？この本はそんな野菜についての様々なふしぎについて解説してくれます。児童向けなどと侮る無かれ、読めばそこにはあなたの知らない野菜の神秘が見つかる、かもしれませんよ。



『農業がわかると、社会のしくみが見えてくる 高校生からの食と農の経済学入門』

生源寺 眞一/著 家の光協会 611/ノ/10

食糧エネルギーや不作による価格高騰。日本の食料自給率の減少。定期的にテレビや新聞・雑誌で取り上げられるけど、結局のところそれはどういったことなのか。そもそもの原因は何で、それによってどんなことがおきるのか。この本はよく聞くけどよく知らない、そんな食糧問題と世界と自分とのつながりをわかりやすく教えてくれます。





『はじめての植物学 植物たちの

生き残り戦略』 おおば ひであき 大場 秀章/著

筑摩書房 47/ハ/13

地球には沢山の植物が存在し、私たち人間と共存しています。しかし、皆さんは身近に存在する植物について、どのくらい知識を持っているのでしょうか。この本には、教科書に載っているような基本的なことから、教科書に載っていない豆知識になりそうなことまで、分かりやすく書いてあります。ぜひ生物の授業だけでなく、この本を読んで植物について知ってみましょう。

ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

『月の影 影の海 上・下』 小野 不由美/著 講談社 F/オノ/03-1~03-2



ある日、普通の高中生だった陽子の教室へケイキと名のる謎の男が「お探し申し上げました」とやってきて、陽子は異世界へ連れ去られてしまう。

異世界十二国記は、霊獣「麒麟」が「天啓」によって見出した「王」と共に治める国である。ケイキは十二国記の一つ「慶」の国の麒麟だった。

慶の国でケイキとはぐれた陽子は、狙われ、かくまわれた老婆の裏切り似合い、次第に自分の立場を知っていく。まずは「天啓」によって「慶の国」の王が陽子自身であるという運命を受け入れ、国を統治していく決心をすることから始まっていく物語である。

古代中国にも似たこの世界では、子どもは木に卵巣としてなるという設定。麒麟をはじめ、人に変身できる動物も出てきて興味深い。

はたらくBOOK 毎号一つの職業に関する本をとりあげます。

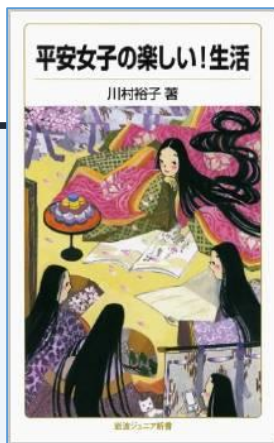


宇宙飛行士:宇宙へ行き、宇宙で仕事をする人

『宇宙飛行士になるには』 漆原 次郎/著 ペリかん社 538.9/ウ/14



私たちは生まれてからずっと、この地球から出ることなく過ごしています。しかし、空を見上げれば、たくさんの星がちりばめられた宇宙空間が広がっています。私たちが生まれるずっと前から、人々は宇宙に憧れをいだき、なんとかして宇宙に行こうと努力してきました。そして、現在『宇宙飛行士』という職業ができました。皆さんは将来にどのような夢を描いていますか？これをきっかけに、私たち<人>が魅了された宇宙と、その宇宙で仕事をする『宇宙飛行士』についても目を向けてみましょう！！



YA担当イチオシ!

『平安女子の楽しい!生活』

かわむら ゆうこ
川村 裕子/著 岩波書店 91/イワ/14

ここがオススメ!

中学生になると古典文学に触れる機会がありますね。古典は難しそうと
っつきにくいな、そんな苦手意識のある方にも古典が身近に感じる楽しい本
のご紹介を致します。

今でこそ古典になっていますが、その当時の人々はいったいどうだったの
でしょうか。私たちと同じように勉強したり恋愛したりしていたのかな?流行の
ファッションなんてあったのかな?そんな疑問を紐解いていきます。古典を読むのに
必要なファッション用語、インテリア、恋のお作法があわせて学べます。

YA(ヤングアダルト)コーナーって?



「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。

- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

春日井市図書館
春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800
<http://www.kasugai-lib.jp>
ケータイサイトはQRコードから→



※表紙画像の掲載にあたっては出版社に許諾を得ています。